

新潟市民芸術文化会館 開館記念ミュージカル
〈岩波書店刊 ジョルジュ・サンド作「愛の妖精」より〉

作曲・音楽監督●宮川彬良

作詞●岡本おさみ

台本●菊池 准

演出●栗田芳宏

振付●名倉加代子・内堀照子

指導●内堀照子

歌唱指導●北川 潤・千田 稔

装置・衣裳●朝倉 拱

照明●塚本 悟

舞台監督●やまだてるお

プロデューサー●笹部博司

出演

久野綾希子・岸田智史

吉田鋼太郎

太田かおり・名和和嘉子

横木美智代 他

企画製作●(財)新潟市芸術文化振興財団

助成●(財)地域創造(ジャンボ宝くじ助成事業)

主催●(財)新潟市芸術文化振興財団

お問い合わせ/
新潟市民芸術文化会館 事業課
TEL 025-224-5616

ジャンボ宝くじの森で眠る。

98年12月17日(土)・18日(日)・19日(土)・20日(日)

新潟市民芸術文化会館 劇場

●開演時間

17日(土)18:30 18日(日)18:30 19日(土)13:30・18:30 20日(日)13:30
(開場はいずれも開演の30分前です)

入場料(税込) S席4,000円・A席3,000円・B席1,000円

演劇バtl先行予約10月1日(土)~3日(日)●N-PAC mate会員予約 10月4日(土)~8日(日)●一般前売開始10月11日(土)

チケット取り扱い/新潟市民芸術文化会館チケット専用ダイヤル TEL 025-224-5521

プレイガイド/大和新潟店・新潟三越・新潟伊勢丹・プラカ新潟・名店デパート

design & illustration by Shiro Kihara

○ミュージカル「シャンポーの森で眠る」について

新潟市民芸術文化会館がついにオープン！世界中からアーティストが集まり、最高級の作品が次々に上演されます。…しかし、実はここ新潟からも、それらに負けず劣らぬ作品が生まれようとしているのです。

超一流のキャスト・スタッフを招き、新潟の皆さんと共に、本格的な作品を作り上げていこうというこの企画「シャンポーの森で眠る」。

超一流と一言で言ってしまうは簡単ですが、情熱と発想で感動的な作品を世に送り続けてきたキャスト・スタッフたちが、真剣に、熱心に新潟メンバーと作品に打ち込んでいます。

オーディションにもそれがあらわれていました。審査員が席を離れ、応募者のすぐそばで台詞のやりとり

を行うシーンや、少しでも長所を引き出し審査しようと本気でアドバイスするシーンが見られました。

合格したキャスト約70名は、6月から約半年間、演技・歌・ダンスの厳しいレッスンを受け、また新潟スタッフたちも、プロの要求を実現するため、学びながら必死で努力を続けています。

そして今、私たちは確信しています。この舞台が今年日本で上演される中でも最高のミュージカルになるだろうと。

新潟から生まれるミュージカル。ぜひこの作品の誕生に立ち会い、一緒に感動を分かち合っていたきたいと思っています。



久野綾希子 岸田智史 吉田鋼太郎

○出演



太田かおり 名和和嘉子 横木美智代

- | | | | | |
|-----------|-------|-------|-------|-------|
| 青木江都子 | 小林 勝 | 鈴木裕美 | 早川青紗 | 諸橋明日香 |
| 新木 望 | 近藤寛子 | 角屋美佳 | 原 仁 | 山賀晴代 |
| 五十嵐雅史 | 斎藤紀美子 | 高田紀子 | 原山紅花 | 山崎周路 |
| 石山篤史 | 斎藤志野 | 高橋麻子 | 樋口明子 | 山田栄子 |
| 植木由美 | 斎藤ひろみ | 竹石弘恵 | 平山 誠 | 山田一洋 |
| 内野節子 | 佐藤愛子 | 谷垣茂彦 | 藤井美菜 | 山田三重子 |
| 江口かおり | 佐藤邦子 | 塚野夢美 | 藤崎久美子 | 山田 恵 |
| 大滝里美 | 佐藤敬子 | 傳川光留 | 府和香織 | 山本真澄 |
| 親松 仁 | 佐藤正志 | 手嶋 愛 | 堀口さつき | 吉川和江 |
| 貝沼和喜子 | 佐藤由紀 | 手嶋智花 | 真木美智代 | 渡辺真生 |
| 金勝陽子 | 佐野 剛 | 内藤 諭 | 松尾美沙 | 渡辺裕樹 |
| 金子 and 佳子 | 白根美弥子 | 内藤千子 | 三浦理恵 | |
| 楠 竜幸 | 杉崎圭子 | 長井春海 | 宮尾麻里 | |
| 栗林紗美 | 鈴木 哲 | 中山裕美子 | 宮澤正子 | |
| 小池 匡 | 鈴木則子 | 長谷川芳子 | 目黒光代 | |

○演奏

- ピアノ＝片桐寿代
フルート＝後藤靖子
ヴァイオリン＝廣川抄子
チェロ＝渋谷陽子
コントラバス＝阿曾 麗

○新潟スタッフ

- 演出助手＝武居昌志
照明＝齋藤道男
音響＝渡辺めぐみ
装置＝山川健太郎
衣裳＝川井紀子
メイク＝三村美代子
舞台監督助手＝西村正一
制作＝野本妙子

○あらすじ

男は、作曲家である。
彼は、自らの古い日記をもとに新しい作品を創ろうとしている。
しかし、日記が呼び起こしたのは、彼自身が一度は消そうとした思い出だった。

弟を呼びながら走っている泣き虫がいる。
あれは、幼い彼自身……。
いじめっ子たちの前に立ちはだかる少年。
自分と同じ姿をしている、大好きな双子の弟……。

故郷は、のどかな農村。
働き者の村人。美しい娘たち。噂好きの老婆。
厳格な父と、慈しみ深い母。
そして、村外れに住む「魔女」とその孫娘。

秋祭り。
青年となった彼の姿。
愛を追うもの、愛に追われるもの……。
ひとりの若者が愛を獲得した。その喜びが風をおこす。
その風にかれるのは、愛する者を奪われた青年の失意……。

戦争。
男は、村を後にする。
従軍。戦闘。脱出……。
自らを消せなかった男の目に映ったのは、生まれ故郷の消失。
愛するものが、愛したかったものが、愛してくれたものが、すべてが、戦火に焼き払われていた……。

「消えるのは、ぼくのはずだった……」
かつての苦しみを思い出した男の前に、鬼火たちが姿を見せる……。

- 託児サービス
12月17日18：30と12月20日13：30の公演に託児施設をご用意します。
ご希望の方は2週間前までにお申し込みください。
(対象：6ヶ月以上の未就学児／託児料一人800円)
- 車椅子席
各公演5席ずつをご用意しております。チケット購入時にご予約ください。
- 耳の不自由な方のために
難聴者赤外線補聴システムを設置しております。
受信器に限りがありますので、あらかじめお申し込みください。



JR新潟駅より車で7分／JR白山駅より徒歩15分／
JR新潟駅万代口よりバス「昭和大橋経由入船町」行で
「白山公園前」下車徒歩2分／
新潟バス桜木インターより車で12分／新潟空港より車で27分

シャンポーの森で眠る